

(平成30年 12月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向)	
水産物全般	<p>12月の総入荷量は、鮮魚、冷凍、加工水産物の全てで前年同月を下回ったため、前年同月比で5%下回った。総取扱金額は前年同月比で4%下回った。</p> <p>日本海西部海域で操業しているずわいがに漁は、せこがに(ずわいがにメス)が12月31日に終了したが、丸がに(ずわいがにオス)は、3月20日までとなっている。今年は豊漁で前年に比べ価格が下がり、お買い求めやすくなっている。ぜひこの機会に御賞味いただきたい。</p>
鮮 魚	<p>鮮魚の入荷量は前年同月比で3%下回り、単価は3%上回った。</p> <p>品目別には、ひらめ、さわらの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。年末年始に需要が多くなる、きはだ、はまぐり、養殖物のぶり、ふぐなどの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。一方、大衆魚である、あじ、さばの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。</p>
冷 凍 魚	<p>冷凍魚の入荷量は前年同月比で7%下回ったが、単価は前年同月並みとなった。</p> <p>品目別には、年末年始に需要が多くなる冷えびについては、中小型物中心の入荷となったことから単価は下回った。冷さけ、冷さわらの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。</p>
加 工 水 産 物	<p>加工水産物の入荷量は前年同月比で9%下回ったが、単価は前年同月並みとなった。</p> <p>品目別には、ゆでたこ、身欠きにしんの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。おせち商材である塩かずのこ、いくらをはじめ、ゆでせこがになどの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。</p>

※鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮魚) ま あ じ	三重，長崎，京都で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で24%上回り，単価は5%下回った。
ま い わ し	三重で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で19%下回り，単価は32%上回った。
さ ば	千葉で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で13%上回り，単価は24%上回った。
す る め い か	島根，石川で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で64%下回り，単価は近年の水揚げ減少で高止まりとなり，需要の伸びも見られないことから前年同月並みとなった。
太 物	総入荷量は前年同月並みとなったが，きはだ，めばちの入荷量減少による値上がりから，平均単価は，前年同月比で7%上回った。
ぶ り	鹿児島で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で16%下回り，単価は18%上回った。
は ま ぐ り	中国で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で18%下回り，単価は19%上回った。

※太物：まぐろ，きはだ，めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚) 冷 さ ば	入荷量は前年同月比で9%下回り、単価は3%上回った。
冷するめいか	入荷量は前年同月比で30%上回ったが、生鮮するめいかの水揚げ減少による値上がりが影響し、単価は17%上回った。
(加工水産物) 塩 さ け	入荷量は前年同月比で13%下回り、単価は10%上回った。
すけそうこ	入荷量は前年同月比で10%下回り、単価は5%上回った。